

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して

NA・GO・MI

なごみ

2010.09 第13号

前野かずみ県政レポート

発行 平成22年9月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



県議会傍聴

ごあいさつ

皆様方におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

日頃は、「前野かずみ」の県議会活動に深いご理解を賜り格別のご支援を頂いておりますことに心からお礼を申し上げます。

県議会選出の監査委員の仕事も本年5月で終了し、新たに生活文化・環境森林常任委員会委員長に就任させていただきました。委員会では、議員間討議を重ね1年間を通して重点的に調査する項目を掲げ委員会審議に入りました。

6月には、一般質問に立ち名松線存続問題を中心に県民の皆様の思いを県政に問いかけてきました。最終頁に記載がありますご一読下さい。

国政では、新政権が発足しました。以来国の政治の迷走が始まり政治の不安定状況が続いて国民の生活に大きく影響し、様々なところでひずみやほころびが大きくなっています。

特に三重県は、生活基盤が製造業を中心とした体制が大きいため、雇用・経済対策にその影響が顕著に表れています。

私は、まず一番に雇用対策を最重要課題県として掲げ、県内の景気浮揚につながる施策の充実に取り組んでまいります。

第二回定例議会は9月15日から12月21日まで開催されます。今後もあたたかいご指導・ご支援を賜りますようお願いいたします。

三重県議会議員 前野かずみ

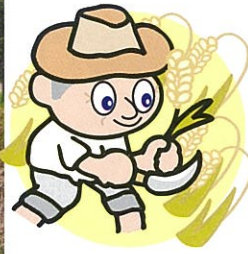


住み良い街づくり、**和み**と活力ある三重県政を目指して、前野かずみは行動します。**安全 安心 安定** ある三重県を目指して

農林水産業

津市管内でも担い手育成の農業基盤整備や再整備の希望が高まりつつあります。桃園西部土地地区画整理事業や河芸町高砂地区、芸濃町北神山地区でパイプライン化の工事が進んでいます。農業議員としてしっかりサポートをしています

中縄土地改良区(宮池)の改修が終了しました。農地への水資源確保等、農業対策に積極的に取り組み土地改良区の皆様や地域の皆様と連携し、継続可能な農業基盤の整備に積極的に取り組んでいます。



前野かずみ議員には、宮池の早期改修と短期に整備が終わるよう陳情し、三重県農水商工部と調整に尽力いただきました。おかげで1年間の休耕で、すべて改修出来ました。関係者一同感謝しています。

中縄土地改良区 理事長 畷田覚郎

教育・スポーツ

教育現場では、いじめと犯罪につながる非行、すぐに切れる心の問題など、難問が山積しています。こうした教育問題に積極的に取り組んでいます。

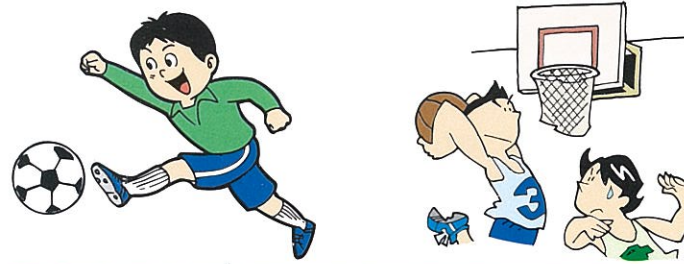


新春サッカー大会

子供の運動能力低下傾向が続いています。スポーツを通じ運動の楽しさを学習させ健全な体力と健全な精神を育む環境を整えます。

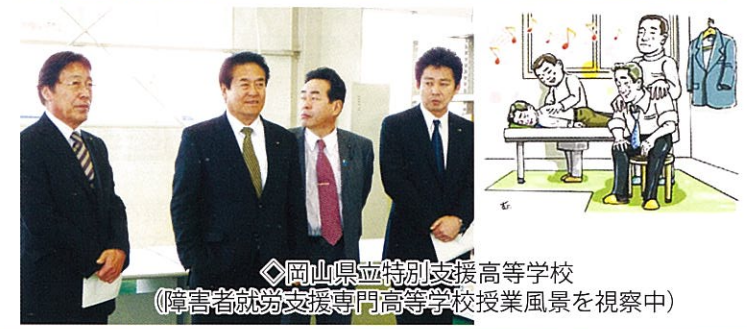


バスケットボールチーム「久居ファルコンズ」全国大会出場壮行会



平成21年の障害者法定雇用率が全国最下位。県内経済団体への理解を求め、障害者の職場実習等を通じて雇用に結び付くよう働きかけています。

稲葉園秋まつりであいさつ……



岡山県立特別支援高等学校(障害者就労支援専門高等学校)授業風景を視察中



社会基盤整備

国は、公共工事の見直しや削減施策を実行しようとしています。整備の遅れている地方は、住民要望の1番の課題にあがってきます。

津市管内でも沢山の要望箇所があり、新津市が一つの市として1日も早く、醸成されていくためにも早急に整備を進めないと津市の一体化が図れません。

津市の合併特例事業を積極的に支援し、国・県事業がそれに遅れないように頑張っています。

気楽に「前野かずみ」までご相談ください。



上稲葉羽野線改良事業 祝 茶屋橋 茶屋橋の架け替えは稲葉地区

20年来の悲願で、前野議員の力添えにより完成しました。皆喜んでます。
稲葉町北出自治会自治会長 飯田周男

地区行事

津市各地の行事に参加しています。市域が広すぎてご無沙汰の地域もあります。お許しください。



栗葉地区民運動会



JA三重中央総代会



千手観音節分式



北長野地区かんど踊り



ふれ愛フェスタ

政務調査

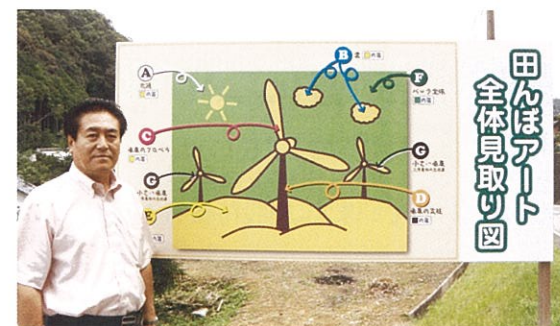
議会の合間に先進地の政務調査や大学教授・専門職の方に講義や講演をお願いして勉強会をしています。



大分岡南病院(大分県) ナースプロデューサー受け入れ



長崎県医科大学病院、離島の多い長崎県ではなくてはならないドクターヘリ



田んぼアート 榊原地区(みずすまし会)の取り組み



竹下 譲先生(四日市大学教授) 地方自治について勉強会

平成22年6月議会一般質問(1年に1回の割当)

(1) 農地・水・環境整備事業の振興について

- Q** 農地・水・環境整備事業に取り組んでいる津市榊原町みずすまし会(自治会・老人会・子供会・消防団・婦人会・旅館組合・財産区)は、県下初の地域イベントとして田んぼアート創りに取り組んでいる、この取り組みは知事が掲げる「美し国おこし・三重」そのものであると思うが、いかがですか？
- A** 田んぼアートの取り組みは農業の誇り、楽しみ、農家の理解の上になんて取り組まれた素晴らしい取り組みであり農地・水・環境整備事業の成果として受け止めている。(知事)
- Q** 農地・水・環境整備事業は平成23年度までの事業である。農村地域の活性化に向けた大変重要な対策であり事業効果も大きな成果が出ている。国に対し継続を要望していく必要があると考えるが県の考えは？
- A** 共同で農作業を行うことによって地域の課題を解決してきた絆が弱まっている。農地・水・環境整備事業への取り組みは県下で308集落、14,700ha取り組まれており集落の活性化に成果が上がっている。国に強く継続を要望していきたい(農水商工部長)

(2) 農業生産基盤の整備について

- Q** 農業生産基盤の整備は、我が国の農業を支える大きな役割を担っています。国の予算が大きく削減され対前年度比36.9%で-63.1%と大きく削減されました。農業生産基盤の整備や保全管理にどのように取り組もうとしておられるのか？
- A** 適切な時期に適切な補修を行い、コストダウンにむけた県独自の工法を用い選択と集中を進め、必要な予算の確保を国に要望していきます。(農水商工部長)

(3) 名松線の早期全線普及に向けて

- Q** 名松線の早期普及に向けて、市、県が行った調査では、J R 東海発表の被災状況は相当深刻で大規模な山腹崩壊が起こっているとされた原状は、確認できなかったとしています。つゆ入りし災害シーズンを迎える中、J R 東海と三重県、津市そして地元との協議で全線復旧存続の見通しは？
- A** 中部運輸局仲介の元、J R 東海・三重県・津市が存続に向けて協議をした。新たに13箇所、沢の崩壊が判明(計47箇所)、J R 東海より山林等の不安定化所の改善や谷止め工・排水路工の整備は自治体で対応するよう要望が出され、新たな沢崩壊箇所の調査に入り今後話し合いを進めていく事としたい。(政策部長)
- Q** 名松線の線路とキハ11型気動車を世界遺産登録のように「三重県遺産登録」して県・関係市町が協力してジョイフルトレイン(お座敷列車)をつないだ観光資源開発はいかがでしょうか？
- A** 美杉地域の観光資源を生かした観光商品作りは、観光プロデューサーを交え取り組んでいる。名松線そのものを観光資源として取り組むための研究をしていきたい(農水商工観光局長)
- Q** 名松線を利用する白山高校生徒が困っています。朝の通学時間帯は、すしづめ状態ですが2両編成で、どうにか乗れます。下校時は1両編成、乗れない生徒が溢れる、1便後は2時間後、定期通学241名、車両定員110名、再三の増車両質問にも改善の兆しなし、県は真剣に取り組んでいるのか？
- A** 生徒下校時の込み合った状況を改称するため、関係部局・学校・PTAと協議していきます。(教育長)

(4) 高齢者福祉問題について

- Q** 三重県では、平成17年より人口減少社会に入り生産年齢人口(15歳~64歳)が30年後の平成47年には、30万人減少して5人に一人が75歳以上、3人に一人が65歳以上の超高齢化社会に成ります。介護を必要とする人は増え続けそれに伴う介護施設の充実が叫ばれています。施設待機者1万人県の取り組みは？
- A** 三重県では第4期の取り組みとして広域型特別養護老人ホームを平成21年~23年に700床を目標に取り組んでいます。介護機能整備や現下の雇用情勢等を考慮した国の緊急整備事業を受けて平成23年度には計画の700床に1/3を上乗せした整備を進めていきたい。